

平成25年度事業報告

第1章 事業概況

平成25年度は、本法人の定款に明記された目的の「この法人は、学術の振興、学生等への奨学援助、調査研究事業、社会貢献活動の推進を図り、社会文化の向上発展に寄与すること」にもとづき、公益目的事業として次ぎの2つの事業に取り組みました。

第1は、社会貢献事業で、防災事業とボランティア活動推進が事業です。

第2は、学術振興事業で、研究助成、奨学金、調査研究を事業です。

平成25年度は経常費用に占める公益目的事業比率は77.8%です。

第2章 防災事業とボランティア活動の推進事業

1、防災事業

(1)防災教育推進事業

内閣府（防災担当）と共催の防災教育チャレンジプラン事業、東京都教育委員会と共催の外部団体と連携した防災教育事業、各学校、地域での防災教育等に協力し、東日本大震災以後、重要性が増している防災教育を推進しました。

また防災教育関係者のよびかけによる一般社団法人防災教育普及協会の設立（設立総会は平成26年3月27日開催）に協力しました。

(2)防災訓練推進事業（シェイクアウト事業）

「効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議」の事務局として、米国カリフォルニアで2008年から始まった防災訓練、シェイクアウト（いっせい防災訓練）の日本で普及の先頭に立ち、平成25年度に合計約250万の参加登録者を得て、自治体の防災訓練の推進に協力することができました。

(3)受取助成金事業

財団法人日本宝くじ協会からの助成を受け、「The Great Japan ShakeOut」のリーフレットを作成、配布し、社会貢献広報事業に協力しました。

2、総合的な災害ボランティア活動の推進

本会の下部組織である災害救援ボランティア推進委員会で次ぎの事業を推進しました。

(1)災害救援ボランティアリーダー養成事業

災害救援ボランティア講座を開催し、累計認定者数が9,889人になり、平成26年度夏までに1万人を達成する見込みとなりました。

(2)災害救援ボランティア活動推進事業

首都圏を中心に地域に根ざした総合的な災害ボランティア活動を推進しました。

養成した災害救援ボランティアリーダー（SL）がつくる任意団体を平成 25 年 4 月に法人化し、平成 26 年 3 月に内閣総理大臣より公益認定を得て、公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワークに発展させました。

また引き続き国の防災ボランティア検討会の委員を澤野次郎理事長が務め、国の防災ボランティア活動の環境整備に協力しました。

(3)防災・減災啓発活動の推進

学習会開催、講師派遣、防災学習施設連携で防災・減災啓発活動を推進しました。

3、福祉・医療・国際分野のボランティア活動の支援

当法人が支援した活動は次のとおりです。

①高齢者・障害者等の福祉活動

地域福祉 千代田区社会福祉協議会

視覚障害者 朗読ボランティアの会

②医療に関係するボランティア活動

がん予防 がんをがんがん減らすボランティアの会

難病支援 難病のこども支援全国ネットワーク

③国際奉仕に関するボランティア活動

国際奉仕 国際ロータリー第 2750 地区

アジア分野 アジア・コミュニティセンター21

第3章、研究助成、奨学金支給、調査研究事業

1、研究助成(公募)事業

財政・金融・金融法制研究、その他関連分野の研究に対して必要資金の全部又は一部を助成しました。

2、奨学金支給(公募)事業

法曹界をめざす法科大学院生5名に対して奨学金を支給しました。

3、調査研究(自主事業)

(1)防災調査研究事業

文部科学省委託研究の都市減災サブプロジェクト（平成 24 年度～28 年度）に参加し、防災・減災の調査研究に協力しました。

(2)行財政研究事業

財政・金融・金融法制研究、その他関連分野における研究を行財政研究会等で行いました。

4、書籍の頒布

既存出版物を頒布しました。

第4章 平成25年度収支決算

平成25年度収支決算書類は第1号議案のとおりです。

承認の対象となる会計書類は貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の3点で、収支計算書は決算の参考書類です。

1、全体状況

財団決算の指標となる正味財産が96,023,420円増加しました。

主な増加要因は特定資産の評価益と売却益です。

企業会計での経常収支にあたる経常増減額は△24,353,020円の赤字です。

次項のとおり一般正味財産の財産増減額で補填しました。

2、正味財産の増減額

(1)正味財産期末残高（貸借対照表、財産目録参照）

期末残高	895,223,875円
増減額	96,023,420円 増加

(2)一般正味財産増減の部（正味財産増減計算書参照）

財産増減額	70,345,345円 増加
経常増減額	△24,353,020円 赤字
経常外増減額	94,698,365円 増加

(3)指定正味財産増減の部（正味財産増減計算書参照）

財産増減額	25,678,075円 増加
-------	----------------

3、事業収支の状況（収支計算書参照）

事業活動収支差額 △21,839,249円 赤字

赤字要因 事業収入 シェイクアウト事業収入が見積りを下回る

管理費支出 臨時支出としての退職金

投資活動収支差額 33,489,677円 黒字

黒字要因 東京電力株の売却益

収支差額 11,650,428 円 増加

4、受取助成金

日本宝くじ協会の会計方式の変更に伴い、受取助成金は財務諸表に対する注記に記載することになりました。

5、役員報酬の件

役員報酬が支給後に年額で495,000円の超過していることが判明しました。該当する役員よりは超過分以上の2,100,600円の寄附金を受けていますので、超過分につきましての承認をお願いします。（寄附金の内、200万円は法人管理の運営費に使用することと用途の定めがありました。）

第5章 運営に関する重要事項

1、百周年記念事業の件

平成 26 年 1 月 28 日に記念講演会、記念パーティ、2 月 22 日には社会デザイン賞への協賛を行いました。記念講演会につきましては読売新聞（2 月 28 日付朝刊）に掲載することができ、事業を無事に終了しました。

2、役員任期満了の件

平成 26 年 5 月の評議員会終了時に理事の任期が満了となりますので、理事選任を行います。

長岡實名誉顧問、石原信雄会長の任期が平成 26 年 5 月 31 日に満了となりますので、再任しました。任期は、平成 26 年 6 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までとしました。

以 上